

9月定例会

小中学校へのエアコン設置で設計委託

平成29年度全ての決算を認定



あす
未来に向かって 勇ましく — 大治中学校 体育祭 —

主な条例改正

▼町職員定数条例の一部改正

町長部局の職員定数の上限を、139人から149人に引き上げます。

▼家庭的保育事業等の設備及び運営に関する

基準を定める条例の一部改正

給食関係の基準の見直しなど、国の定める基準の変更に伴い、改正します。

主な補正予算

▼小中学校のエアコン設置に向けての設計委託料

1382万5千円
小中学校の全教室にエアコンを設置する予定で、設計を行います。

▼役場非常勤職員の制度変更に伴う

法制事務支援事業の委託料
26万円

地方公務員法が改正され、非常勤職員制度が平成32年4月から変わるため、条例改正などが必要となり、それを支援するためのものです。

▼公共下水道事業の公営企業会計システム使用料

49万7千円
平成32年4月から、公共下水道事業会計は公営企業会計に移行します。そのため、平成31年4月からシステムを導入する本年度分の費用です。

工事請負契約

▼公共下水道工事（北間島地区）

8316万円
契約先：株式会社 加藤建設
工期：平成31年2月28日まで

本会議質疑 & 委員会ダイジェスト

町職員定数条例の一部改正

一部改正

についても委託が認められているが、説明を。

平成29年度一般会計決算の認定

協議を進める中で、みきクリニックで事業を引き受けていただいた。

今回の改正によって、連携施設の確保が困難なとき、小規模保育事業所での代替保育を可能としたものだ。

財政状況に配慮を

質問

職員定数を10人増やす提案となっているが、将来の財政負担に関わる問題である。

本町の人件費比率は、13・9%でかなり高い水準にあり、経常収支比率も86・4%と硬直化している。このようなことを十分に考慮しての提案か。

平成30年度一般会計補正予算

◆高すぎないか

答弁

今回の10人増の提案は、職員数の限度として考えている。

経常収支比率など、財政状況を十分に考慮しながら進めていく。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆改正の要点は

質問

今回の条例改正で連携施設を、小規模保育事業者などに拡大し、給食に

◆少なすぎないか

質問

防犯カメラの設置に対する補助制度がある。実績は1件しかなかったが、ということか。

答弁

補助要件が少し厳しい点があるうかと思う。要綱を精査し、より使いやすいものにしたと考えている。

◆総括を

質問

昨年度、新規に病児・病後児保育事業を実施した。

結果は、利用者が213人あったとの報告がある。行政としてどう捉えているか。

答弁

本町の小中学校は、児童・生徒数が多いため、多い状況にある。

答弁

設計金額の差は、エアコンを設置する教室数にもよるのではないかと考える。しかし、発注にあたっては、近隣の状況などを調査して、精査に努める。

反対討論Ⅱ 吉原経夫議員



大治はなつね保育園に対する補助金が過大である。保育園の建設にあたつて、自己資金のうち借入金

金が3億4120万円で、純粋な自己資金は74万7660円である。借入金だと、利子も含めて、毎年の返済金の4割が町負担となる。

町として、借入金を減らして純粋な自己資金を増やすよう指導しなかったのか。非常に町の姿勢に疑問を感じる。

以上の理由により決算の認定に反対する。

賛成討論Ⅱ 折橋盛男議員

町税の収納率が上がり、それに伴い、収入未済額も減少させている。

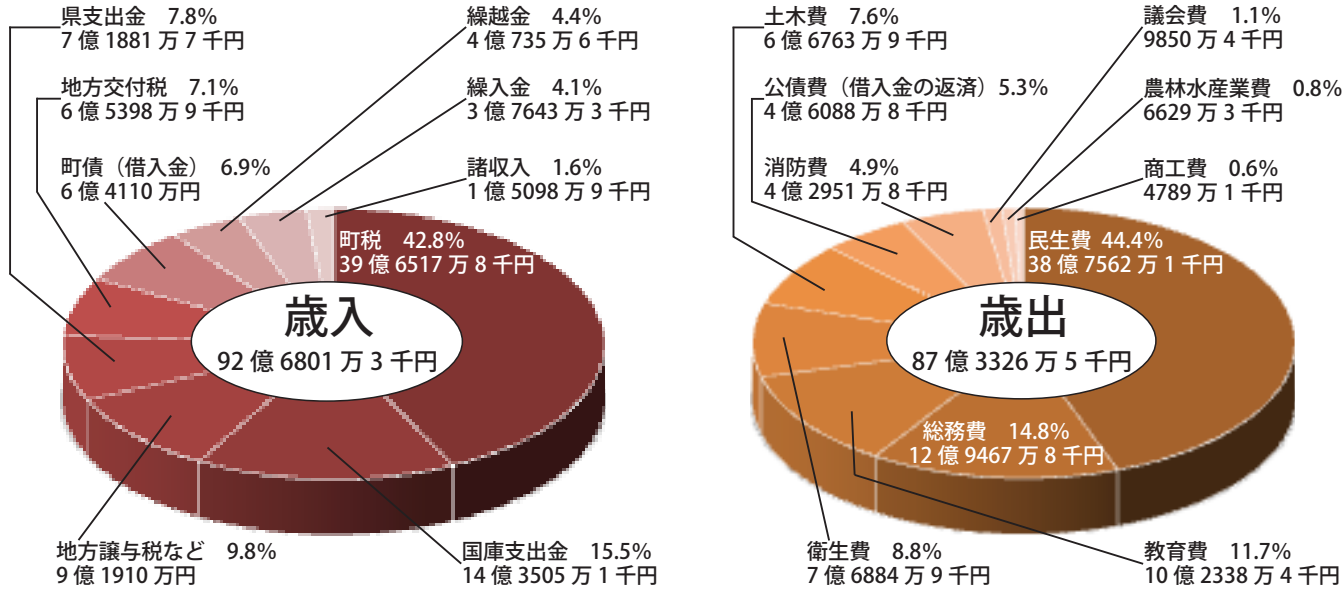
子育て世代を支援する事業や、大治小の大規模改修工事を行うなどの施設改善にも努めている。

将来の保育事業の健全な運営を見据え、大治はなつね保育園を新築するなど、適正に予算が執行されているので、決算の認定に賛成する。

平成29年度一般会計

決算の構成比

(千円未満 4捨5入)



平成29年度決算状況	会 計		歳 入 (対前年度比)	歳 出 (対前年度比)
	一 般 会 計		92 億 6801 万 3404 円 (111.4%)	87 億 3326 万 4840 円 (110.4%)
	特 別 会 計	国民健康保険	36 億 5706 万 8577 円 (96.3%)	33 億 3186 万 4785 円 (96.5%)
		土地取得	44 万 5239 円 (179.6%)	44 万 5239 円 (179.6%)
		介護保険 保険事業勘定	16 億 1290 万 7310 円 (105.3%)	15 億 5863 万 6673 円 (108.0%)
		介護保険 介護サービス事業勘定	1622 万 5044 円 (98.5%)	1547 万 9575 円 (99.6%)
		公共下水道事業	5 億 235 万 7297 円 (102.1%)	5 億 10 万 3790 円 (101.8%)
		後期高齢者医療	5 億 3889 万 1854 円 (106.5%)	5 億 3838 万 8954 円 (106.5%)
	合 計		155 億 9590 万 8725 円 (106.3%)	146 億 7818 万 3856 円 (106.2%)

ずばり直言！ 一般質問

9月議会の一般質問は、9月10日に行い、5人の議員が町政をただしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

危険なブロック塀撤去に補助金を



危険なブロック塀
は、小中学校にはないが、幼稚園、保育園にはないのか。

また、町内には多くのブロック塀があるが、通学路には危険がないのか。そこで提案だが、通学路に限らず、危険なブロック塀を、撤去する費用の一部を補助する制度を作る考えはないのか。

まず危険性を周知

町長 幼稚園、保育園については、基準に適合しなれば、改修を促していく。通学路に限らず、道路に面した危険箇所は、現地調査で把握に努めている。補助金よりも、町民に危険性を理解してもらうことが大事であると考えている。他に5問ありました。

町史の改訂版発行の考えは



町史は昭和54年に発行され、既に40年が経過しようとしている。

発行された町史は、未完の部分もあり、編さんの責任者自身も、「いずれ増補、改訂なりの問題が起こることと思う」と、編集後記で言っている状況である。町制50周年に向け、改訂版を発行する取り組みへの考えは。

増補版の発行を検討

教育長 町史は、40年間一度も改訂していない。全面改訂には、十分な調査が必要であり、相当な年数がかかる。50周年に向けては、既刊の町史以後の歩みの、増補版を発行するよう検討していく。

問 宿・日直の見直しを
答 検討している



亀裂が入ったブロック塀
(現在は撤去済み)

感震ブレイカーの設置に補助を



阪神・淡路大震災では、原因が特定できた火災の6割が、通電火災であった。

このことで、地震を感知して、自動的にブレイカーが落ちる「感震ブレイカー」の普及が非常に大切と考える。そこで、「感震ブレイカー」を設置する補助制度導入の考えは。

導入の考えはない

町長 総合防災訓練では、中部電力の協力を得て、通電火災防止に関する啓発を行っている。今後とも広報などで、「感震ブレイカー」の重要性・有効性を周知していく。今のところは、「感震ブレイカー」の設置に対する補助金制度を導入する考えはない。



液状化による埋設管の被害
(出典：災害写真データベース)

大丈夫か 水害への危機感



最近は地球環境の変化などで、全国各地で豪雨が発生し、被害も大きい。

そこで、本町における豪雨時などでの人命を守るための取り組みを問う。
①洪水ハザードマップの活用や、水害への危機感を醸成するには。
②河川の水位情報を知ることができる仕組み。
③被害を最小限に抑える取り組みは。

排水機を早めに稼働

町長 ①平成26年度に、防災ガイドブックを各戸に配布している。
②気象庁HP「洪水予報の危険度分布」で分かる。
③排水機を早目に稼働するなど、水位を下げる対策をしている。
職員に対し、情報を注視し、住民への早めの注意喚起を指示している。

液状化について



M8.9の東南海地震が、30年以内に26%の確率で発生すると言われている。

また、本町の液状化危険度マップによると、13カ所の避難所のほとんどが液状化の影響が大きいとなっている。避難所のうち、最低3カ所でもボーリング調査をし、震度がどれくらいで液状化になるのか、町民に知らせるべきであると思うが、町の考えは。

避難所は調査して土壌改良済み

町長 海部地域は、液状化する可能性が非常に高いと、認識している。避難所は、ボーリング調査後、土壌改良がしてあり、仮に液状化をしても建物の骨組みが壊れることはない。
なお、液状化危険度マップは、全戸に配布している。他に4問ありました。

12月定例会 日程(案)

5日(水) 開会 上程・提案説明
10日(月) 一般質問
11日(火) 質疑等
13日(木) 総務教育常任委員会
14日(金) 福祉建設常任委員会
21日(金) 採決 閉会
※開会は午前10時です。
日程は、変更となる場合があります。
定例会日程は、町のホームページでも確認していただけます。



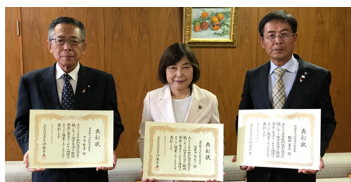
議員表彰



浅里議員に
総務大臣感謝状

35年にわたる議員活動で、地方自治の発展に功労があったと認められ、浅里周平議員に『総務大臣感謝状』が贈呈されました。

3議員へ
県自治功労者表彰



在職15年の功績により、服部副議長、下方議員、後藤田議員の3人が、県町村議会議長会長から表彰されました。

おはる議会だより (3)

人事案件

教育委員



北川 美知子氏 (再任)

任期は、平成30年12月1日から4年間です。

固定資産評価審査委員



野間 祐司氏 (再任)

任期は、平成30年12月27日から3年間です。

下記の意見書を可決し、国の関係機関に提出しましたので、
要旨をお知らせします。

■公立小中学校における空調設備の設置に財政支援を

児童・生徒の教育環境を改善するため、公立小中学校の空調
設備の設置に対する予算を、大幅に拡充するよう強く要望する。

■義務教育費国庫負担制度の堅持と拡充を

義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の
1への復元にむけて、十分な教育予算を確保することを求める。

■国の私学助成の拡充を

父母負担の公私格差を是正するための就学支援金や、経常費
補助などの一層の拡充を図ることを求める。

■地域高規格道路一宮西港道路の早期実現を

地域高規格道路「一宮西港道路」の早期実現のため、特段の
措置を講じられるよう強く要望する。

●テーマ 第1部 議会広報のあり方

第2部 議会広報クリニック

●講師 山田貞雄氏（国立国語研究所研究員）
●参加者 議会広報特別委員5人

今回のクリニックでは、予算関係の円グ
ラフの色使いに対し
て、分かりやすい色使
いや、文字が読みやす
い色使いを心がけるよ
う、指摘がありました。
これからも、読みや
すく、分かりやすい広
報紙を目指して、常に
努力していきます。



9 月 定 例 会	議 案	賛 成	反 対	議決 結果
	町職員定数条例の一部改正	11	0	可決
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	10	1	可決
	ホテル等建築の適正化に関する条例の一部改正	11	0	可決
	平成30年度 一般会計補正予算（第3号）	11	0	可決
	平成30年度 介護保険特別会計補正予算（第1号）	11	0	可決
	平成30年度 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	11	0	可決
	平成30年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	11	0	可決
	平成29年度 一般会計決算	10	1	認定
	平成29年度 国民健康保険特別会計決算	10	1	認定
	平成29年度 土地取得特別会計決算	11	0	認定
	平成29年度 介護保険特別会計決算	10	1	認定
	平成29年度 公共下水道事業特別会計決算	11	0	認定
	平成29年度 後期高齢者医療特別会計決算	10	1	認定
	工事請負契約（公共下水道工事）	11	0	可決
	町道路線の認定	11	0	可決
	教育委員の同意（北川美知子氏）	11	0	同意
	固定資産評価審査委員の同意（野間祐司氏）	11	0	同意
	「カジノリゾート整備法」と「カジノリゾート推進法」の廃止を求める意見書	1	10	否決
	カジノリゾート誘致断念を求める意見書	1	10	否決
	公立小中学校における空調設備設置の財政支援を求める意見書	11	0	可決
	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	11	0	可決
	国の私学助成の拡充に関する意見書	11	0	可決
	地域高規格道路一宮西港道路の早期実現に関する意見書	10	1	可決



ることのうれしさと、出
場が決まった瞬間の子ども
たちの輝いた姿が、目に焼き
付いています。（林先生）

●出場しての感想は

この大会が最後の試合に
なるので、今までやってき
たことを思い出して、全力
で挑みました。（小久保君）

●大会後の変化は

全国でも、自分たちのバ
レーが通用することが分
かったので、自信が付きま
した。（二宮君）

●限られた中での指導法は

子どもたちが「目的を
持って練習する」ことを意
識するように、指導してき
ました。そして、全員がそ
のことを理解して取り組ん
でくれました。

また、平日は個々のスキ
ルアップを目標とした練習
をしました。他の日は、実
践的な動きを中心とした練
習をして、無駄な時間をつ
くらないように心掛けまし
た。（林先生）

●うれしかったこと、大変
だったことは

チームがまとまらずに敵
しく指導を受けたこともあ
りました。最後にはチー



●全国大会出場を決めた時
の気持ちは

今まで頑張ってやってき
たことが、成果となって出
てきたこと。また、生徒が
目標としていた舞台に立て

ムが一つになって全国大会
に出場できたことがうれし
かったです。（二宮君）



●後輩へのメッセージ

今までやってきたことを
生かし、先生の話をしっか
り聞き、練習に取り組んで
ください。（中越君）

●3人から先生や家族、
チームメートに一言

先生へ 朝練など朝早い時
間からの指導や、対戦相手
について調べてくれてあり
がとうございました。また、
調子の悪いときには、個人
的に相談に乗ってくれるな
どすごく感謝してます。

家族へ 朝早く起きてのお
弁当作りや、試合会場への
送迎などありがとう。

また、大きな声での応援
にととても感謝しています。

チームメートへ 今まであ
りがとう。このチームでバ
レーができて本当によかつ
た。最高のチームでした。
いつかまた、みんなでバ
レーやりたいな。

限られた時間での指導や
練習はとても大変だと思
います。今までは、県大会ベ
スト8が最高のバレーボー
ル部が、全国大会決勝トー
ナメントに出場したこと
は、素晴らしいことです。
これからも粘り強く頑
張ってください。応援して
います。ありがとうございます。

暫時休憩

▼7月の西日本豪雨に続
き、9月には台風21号、24
号による甚大な被害が発生
した。

さらに、北海道胆振東部
地震では、道内のほぼ全域
で停電した。

▼地震や台風などの対応も
変化してきた。台風や豪雨
の予報をもとに、交通機関
が早めに運休するようにな
った。

被害を少なくするための
早めの対応を、心掛けてい
きたい。

▼スポーツの秋、食欲の秋、
「○○の秋」と表現される
ことが多い中、「災害の秋」
の感が強い。

▼過ごしやすくなったこの
季節、多様なことに挑戦し
ながら、災害に対する備え
もしっかりしていきたい。